

第1673回 2015. 2. 10

2014-2015

# LIGHT UP ROTARY

半田南ロータリークラブ ●創立：1980.2.12 ●認証：1980.2.25

■会長／榊原 肇 ■幹事／岩部 雅人 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所  
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569) 21-0324 FAX.(0569) 23-4546



## 半田南RC創立35周年記念夜間合同例会

会場：三好屋旅館

- 司会 S. A. A 岩部 雅人君
- ソングリーダー 岩部 雅人君
- ロータリーソング 「我等の生業」
- 今月の歌 「たきび」
- ピアノ 中田美由紀さん
- ゲスト 南佐久RCの皆様 総勢10名

### 会長挨拶 南佐久RC会長 黒澤 仙一君

半田南ロータリークラブの皆様、この度は創立35周年誠におめでとうございます。尚本日は、私ども南佐久ロータリークラブをご招待していただき有難うございます。わたくしども10名、喜んでお祝いに出席させていただきました。



何うところによれば、貴クラブは半田ロータリークラブより昭和55年に独立して現在に至っているとのこと、一口に35年といってもとても長い道のりです。その間様々な苦勞があり又喜びもあったろうと思います。私ども南佐久ロータリークラブとは昭和63年に姉妹提携を結んでいたより27年、その間暖かい友好関係、又親身なご指導をいただき心から御礼申し上げます。貴クラブは人口20万余の半田市およびその周辺都市を後ろ盾として会員40名弱という中堅クラブで、様々な活動をされ大いに楽しまれている由、誠にうらやましい限りです。私ども南佐久ロータリークラブは、長野県の東に位置し八ヶ岳を背負う南佐久地方で、会員20名弱の小クラブですが小クラブの特徴を生かし、それなりの活動をし又楽しんでおります。しかしいづこも同じ会員の減少、高齢化が悩みです。

さて、私ども南佐久ロータリークラブは今年で創立40周年を迎えます。貴クラブ同様40周年記念イベントを企画しておりますので多数の皆さんのご来訪をお待ちしております。今宵は御地の銘酒と新鮮な海の幸をたっぷり堪能させていただきます。最後に貴クラブのますますの発展を祈念いたしまして挨拶に代えます。

### 会長挨拶

会長 榊原 肇君

2月4日東京台場のホテルグランバシフィックLE DAIBAにて730名の出席者による「ジャパンロータリーデーII IN東京 RI会長ご夫妻歓迎晩餐会」が開催されました。国際ロータリー北清治理事(2770地区パストガバナー、浦和東)よりゲイリー CKホアンRI会長とコリーナ令夫人の紹介と元RI会長、ロータリー財団の管理委員田中作次さん(八潮)令夫人をはじめとする多くの出席者の紹介があり、何よりも歓迎をされたのが、中央に席が用意された新会員の皆さんの紹介でした。新会員全員起立する中、会場から大きな拍手が鳴り響きました。そして、新会員にはRIテーマの赤いネクタイ、スカーフがRI会長よりプレゼントされました。北理事の挨拶ではロータリーデーの目的をあらためて話され、世界におけるロータリーの重要性と素晴らしい活動にスポットを当てるよう提唱と奨励をしました。2760地区で開催されたWFF(ワールドフードふれ愛フェスタ)の1日をジャパンロータリーデー IN愛知としポリオ撲滅、公共イメージと認知度の向上に対して初期の目的を立派に果たしていると紹介していただきました。特に資金調達模範的組立についてお褒めの言葉をいただきました。お知らせとしては、日本の会員数は減少したが、昨年からはプラスに転じ12月現在88,784名となり34地区が全てプラスに転じたこと、国際ロータリーは2月23日で満110周年を迎え、日本のロータリーは5年後の2020年100周年を迎えること。ロータリーの友12月号にビジョンの提言を求める記事が掲載され、皆さんが主役となる提言を提出してくださいとお知らせがありました。



RI会長からは、日本語で「こんにちは」と挨拶があり会場をなごませていただきました。台湾で行われているハッピークラブの方法のレクチャーを何度もされました。1拍手、2拍手、3拍手、4拍手最後に2回拍手をします。何か良いことがあったときには、良いことを言った後に「ツァン」といいます。ハッピークラブとツァンと合わせて行いました。いつの間にか会場は1つになっていました。

会長からは、「私にとって今年度はロータリーに輝きをもたらすエキサイティングな1年です。これまでに世界中を旅し多くの新しい友人と出会うことができました。友人といえば次のような名言があります。【新たな友人を作りなさい。ただし古くからの友を大切にすること。新たな友は銀の友。旧友は金の友。】今日ここにいらっしゃる方々は古くからの私の友人です。つまり私にとっての金の友です。ロータリーにおいて日本と台湾の永きに亘る友好の歴史があることに、私は誇りに感じています。私自身、日本との付き合いは30年も前にさかのぼり、私は日本の全ての理事と管理委員を知っている極めて数少ないRI会長の一人だと思えます。日台ロータリー親善会議のメンバーであることを誇りに思っています。親善会議を通じて7年以上に渡り、日本と台湾の固い絆を深めてまいりました。お互いに譲り合い、争いごともありません。日本と台湾をどちらが先かと気をもむことありません。日本語では日台ロータリー親善会議と呼び、中国語では台日ロータリー親善会議と呼ぶ。どうですか？実に簡単な琴でどちらが先か？などの心配は不要なことです。日本と台湾が国連をリードすれば世界平和は来週にでも実現できるでしょう。私にとって日本との友情はロータリーに限られたことではありません。初めて日本を訪れた時、私はこの国こそが未来だと思いました。日本は当時すでに平和に生きる方法を見出し、戦争や争いの過去を乗り越えてきました。この国の人々は成長を遂げ、最速の新幹線を生み出し、環境にやさしい生活に重点を置いています。私は即座に心を決めたものです。自分や台湾の人々、私の家族にも日本から学んでもらいたいと、ですから私は我が子全員を日本に留学させました。娘を日本に送り出してすぐこの決断が正しかったことを悟りました。前川バスターガバナーや日本のロータリアンの皆さまが、わが子のように面倒を見てくれると東京に暮らす娘から聞きました。今では子どもたちはみな日本語を話すことができます。2つのトップ大学である慶応と早稲田を卒業し、これを機に子どもたちは日本と台湾の友好をさらに深めています。こうした経験を通じて子どもたちは“大同小異”日本人と台湾人がとても似ていることを学びました。自分ができなかったことを子どもたちが経験し、自分が学べなかったことを学んでいる姿を見ると、一人の親として本当に誇らしく感じます。子どもたちがみな流暢に日本語を話す姿を見る時など、言いようのない誇りを感じます。私自身、何年も日本語の勉強をしていますが、彼らの日本語には遠く及びませんが、でも子どもたちは『大丈夫、頑張って続ければ上手になるよ。』とってくれます。彼らは私にこういいます『けいぞくは、ちからなり』と。日本に於いてこれは真実だと思います。皆さまによるロータリーの奉仕でも同じことです。日本には力強いロータリーの歴史があり、ロータリーでの強い思い出があります。今年度を通じ日本で実施されたロータリーデーの数々についてお話を聞くことができました。今日、日本でのロータリー

デーの様子が収められたビデオを拝見できるのを楽しみにしています。日本全国でロータリーデーを進んで実施していただいたことに、心より御礼と感謝を申し上げます。

ロータリーデーの実施は、ロータリーについて重要なメッセージの発信でもあります。それは皆さんが持つロータリーへの誇り、そしてロータリーで行う奉仕への誇りです。その誇りを人々に示す機会なのです。このような誇りを示すことによって、ロータリーデー開催の真の目的である「ロータリーに輝きをもたらす」ことになるのです。それぞれのロータリーデーがそれぞれの個性を持っていますが、何れの行事でもはちきれんばかりの笑顔を見ることができます。ですから皆さんもロータリーデーで1分1秒でも楽しんでください。日本語の次の表現にあるように『一期一会』というように……。Thank You ドウモ アリガトウ ゴザイマス。(スピーチをビデオで撮影し、原稿に落としたものです。聞き取りにくいところは誤記の可能性もあるので悪しからずよろしくお願いいたします。榎原)

#### ●出席委員会

第1673回例会 2月10日(火) 天気(晴)

本日の例会は23名の出席にて、出席率は67.64%です。なお、前々回は3名のメークアップにて94.29%に訂正します。

#### ●Smiling Box

竹内満寿夫君 南佐久の皆さんようこそ。楽しんで下さい。

石川 勝彦君 南佐久の皆さん、300km近い道のり、ようこそ。小さい海も良いですが、大きい海を楽しんでいって下さい。

○半田南RC創立35周年を祝して

○南佐久ロータリーさんをお迎えして

三好屋旅館さん、親睦委員会さんお世話になります。

小栗 雅彦君	竹内満寿夫君	加藤 金吉君
都築 延男君	永田 明世君	新美 茂君
近藤 敏通君	石川 信行君	間瀬 正君
石川 勝彦君	榎原 肇君	榎原 邦彦君
都築 利全君	岡戸 利直君	山本 育輝君
鈴木 健司君	山本 慎治君	榎原 英君
岩部 雅人君	手島 嘉宏君	蜷川 勝己君
河合 英樹君	堀田 敏行君	

合計23名 77,000円



#### ●次回の例会

第1675回例会 地区大会  
2月21日(土)・22日(日)

一日目 雁宿ホール

二日目 ウェスティンナゴヤキャッスル



